

Q. ホンドフクロウの足指が^{あしゆび まえむ ほん うし む}前向き 2本、後ろ向き^{ほん しょうかい} 2本と紹介されていましたが、オオバタンのオージ^{おな き しゅ なに}ローくんも同じだと気づきました。種として何か^{かんけい つごう おな ゆび}関係があるのでしょうか。それぞれの都合で同じ指^{かた}のつき方になったのでしょうか？

A. はい、フクロウとオウムは同じ^{おな まえむ ほん うしろむ}前向き 2本、後ろ向き^{ほん たいしそく よ こうぞう} 2本となる対趾足と呼ばれる構造をしています。ただ、フクロウの^{だい し かどういき ひろ}第4趾は可動域が広くなっており、^{まった おな わけ}全く同じという訳ではありません。なお、もっとも^{いっぱんてき こうぞう まえ ぼん うしろ ぼん さんぜん し そく}一般的な構造は前3本、後 1本の三前趾足となります。とり^{ほん べんり おうよう き きほんけい}鳥にとっては4本がとても便利で、応用の効く基本形^{ほか さまざま}となっています。他にも様々^{かたち しら}な形がありますので、ぜひ調^{おもしろ}べてみてください。面白いですよ。

